

令和3年度 全国学力・学習状況調査 鴻巣市の結果の概要【小学校】

1 鴻巣市と埼玉県・全国との正答率比較

	国 語	算 数
鴻巣市	64	68
埼玉県	65	69
全 国	64.7	70.2

2 小学校各教科の領域・区分等について

<p>国語</p> <p>○「話すこと・聞くこと」は、全国・県平均を下回っています。 「書くこと」は、県平均を下回り、全国平均と同程度です。 「読むこと」は、全国・県平均を下回っています。 「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国・県平均を下回っています。</p>
<p>算数</p> <p>○「数と計算」は、全国・県平均を下回っています。 「図形」は、全国・県平均を下回っています。 「測定」は、全国・県平均を下回っています。 「変化と関係」は、全国・県平均を下回っています。 「データの活用」は、全国平均を上回り、県平均を下回っています。</p>

3 質問紙調査から（一部抜粋）当てはまる・どちらかといえば当てはまるを選んだ児童の割合

質問事項	鴻巣市	埼玉県	(差)	全 国	(差)
学校に行くのは楽しいと思いますか	89.7	83.2	+6.5	83.4	+6.3
将来の夢や目標を持っていますか	84.0	81.4	+2.6	80.3	+3.7
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)	80.7	76.1	+4.6	74.0	+6.7
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、 教材、学習時間などになっていましたか	86.1	82.4	+3.7	81.4	+4.7
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の 考えを深めたり、広げたりすることができていますか	84.0	82.9	+1.1	78.8	+5.2
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思 いますか	72.9	69.4	+3.5	70.1	+2.8
地域や社会をよくするために何をすべきかを考 えることがありますか	58.3	51.8	+6.5	52.4	+5.9
国語の勉強は大切だと思いますか	94.3	93.2	+1.1	93.2	+1.1
算数の勉強は大切だと思いますか	95.8	93.6	+2.2	93.8	+2.0
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグ ループで話し合ったりする活動に取り組んでいま すか	85.5	84.0	+1.5	81.1	+4.4

4 学習指導改善のための今後の方策

各学校の実情に応じて、以下の取組を推進してまいります。

【鴻巣市学習指導の重点】

- 学習課題を明確にし、児童生徒が見通しをもって学習するとともに、学んだことを自分の言葉で表現するなど、一人一人が学習の成果を振り返ることができる授業を展開していきます。
- 学習課題について一人一人が考える時間を十分に確保し、自分の考えをもって他者と交流することで、考えを深めていくことができる授業を展開していきます。
- 学んだことが確実に定着するよう、授業の中でまとめの練習問題に取り組むとともに、新たな課題を見付けたり、日常生活に活用したりできる授業を展開していきます。

【各教科における指導方法の改善】＜国語＞

○〔話すこと・聞くこと〕＜重点：目的や意図に応じ、資料を使って話す＞

- ・資料を提示しながら話す仕方について検討するためには、資料を用いる目的や意図を明確にすることが重要です。目的や意図に応じて、聞き手に提示する資料のどの部分に着目してほしいのか、また、どのような説明を加えると話の内容を分かりやすく伝えられるのかについて検討し、自分の表現に生かせるよう、指導していきます。

○〔書くこと〕＜重点：自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える＞

- ・書く材料を整理したり関係付けたりして段落に書く内容を考えながら、文章全体の構成や展開を検討できるようにすることが大切です。児童が自ら、自分の主張が効果的に伝わるかを確かめることができるように、主張と理由や事例をカードに分けて書いたり、それらを並べ替えたりするなどの学習活動を取り入れる等し、指導していきます。

○〔読むこと〕＜重点：文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する＞

- ・「中心となる事柄」を把握するために、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのか、どのような感想や意見などをもっているのかなどに着目して、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えることができるよう、指導していきます。

○〔言葉の特徴や使い方に関する事項〕＜重点：修飾と被修飾との関係について理解する＞

- ・修飾語には動きを表す語句を詳しくする場合と、ものや人などを詳しくする場合があることを理解できるようにすることが大切です。そのために、修飾語を加えて文を詳しくしたり、修飾語がどの語句を詳しくしているのかをはっきりさせたりすることを、指導していきます。

【各教科における指導方法の改善】＜算数＞

○〔数と計算〕＜重点：小数を用いた倍＞

- ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数を用いた倍の意味を捉え直して、小数を用いた倍についても、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味について理解できるよう、指導していきます。

○〔図形〕＜重点：三角形の面積＞

- ・公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し、必要な情報を選び出すことができるようにすることが重要です。公式を用いる上で不要な辺や線分の長さを示した図を提示し、求積のために必要な情報を選び出す活動を取り入れる等し、指導していきます。

○〔測定〕＜重点：二つの道のりの差＞

- ・日常生活の問題を解決するために、必要な数値を選び、具体的な場面に対応させながら、読み取った数値を適切に用いて式に表すことができるようにすることが重要です。図に示されている数値と式を関連付ける等し、指導していきます。

○〔変化と関係〕＜重点：速さ＞

- ・速さを比べる際には、単位量を道のり又は時間で比べる場合があり、どちらを単位量として設定しているかについて考え、速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにすることが重要です。図を用いるなどして、1分間あたりに進む道のりを求めていることを確かめる活動を取り入れる等し、指導していきます。

○〔データの活用〕＜重点：帯グラフ＞

- ・帯グラフからそれぞれの割合を読み取ることができるようにすることが重要です。また、各項目の特徴や傾向を読み取ることができるようにすることも大切であり、帯グラフを多面的に捉え考察できるよう、指導していきます。